

2015年(平成27年)7月13日(月曜日)

セミナーレポート

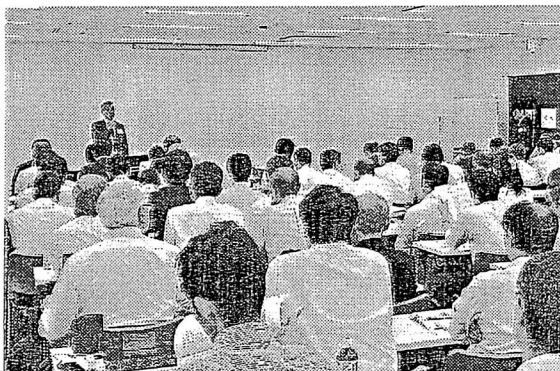
希少金属資源リサイクルに関わる産学官の
関係者でつくるレアメタル資源再生技術研究
会(岐阜県各務原市、藤田豊久会長、☎05
8・379・0686)は7月1日、201
5年度通常総会と、第10回講演会を開催した。
今回は「レアメタル資源リサイクルビジネス
の国際展開―日本からアジアに向けて―」を
テーマに、参加者は資源リサイクルについて
知識を深めた。

講演会に際して、あひと思ついた今だから
いさつに立った同会会 こそ、よの技術を磨き
長で東京大学大学院工 議論を深める好機と捉
学系研究科教授の藤田 え、国際的な視点も含
豊久氏は「現在、金属 めて危機の再来に備え
資源の価格は落ち着い てほしい」と述べた。
ものの、依然として 最初の講演では、台
変動性は高く、いつま 湾国立成功大学教授の
たレアメタルショック 陳偉聖氏が登壇。「台
が再来するから分らない。 湾における太陽電池製

レアメタルRをアジアで

レアメタル資源再生技術研究会

通常総会と講演会を開催



開会のあいさつをする藤田会長

少化がより OGMETCにおけるレ
し、国際資源循環の構
造が複雑化しつつある
こと、そこにビジネス
チャンスがあるのでは
ないかと示唆した。
最後に、遊技台リサ
イクル等に組み入り
サイクルテク・ジャ
パン(名古屋市中)社長
高取美樹氏が「手解体
によるレアメタル・貴
金属の高収率リサイク
ルシステムとリユース
の展開」として、同社
が取り組む金属リサイ
クルとリユースの各種
メニューを紹介した。

造廃棄物からのカリウ 樹脂と溶媒抽出を用い
ムとインジウムの回 た使用済みスパッタリ
「マテリアルフローか
ら見た資源リサイクル
ビジネスのグローバル
化の現状と可能性」に
ついて講演。さまざま
力架け橋プロジェクト
を紹介した。

電の普及が進む一方、 次の講演では、(独石
CIGS等の次世代太 油天然ガス・金属鉱物
陽電池に含まれるイン 資源機構(JOGME
ジウムやカリウムの希 C)の大橋良輔氏が「J

工場系・使用済み製品・金属類